



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

部会活動の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会は会員数約 1000 名の日本化学会で最大の部会です。物理化学、高分子化学、触媒化学、電気化学、化学工学、超分子化学、ソフトマターなど、専門分野が多岐にわたる部会員が分野横断型の学際領域の集団として活動を行っています。

コロイドおよび界面化学討論会

部会最大のイベントが「コロイドおよび界面化学討論会」です。プログラムは 7 つのセッション（総合セッション、分子集合体の科学と技術、組織化膜の科学と技術、微粒子とその分散系の科学、微粒子とその分散系の技術と応用、固体表面・界面の科学と技術、応用・開発セッション）と企画を公募する一般シンポジウムから構成され、発表件数約 450 件、参加者約 600 名の規模で毎年 9 月に開催しています。2019 年には第 70 回の開催を記念した国際学会「Okinawa Colloids 2019」を沖縄県名護市の万国津梁館で開催し、33 カ国から 1021 名（うち海外から 248 名）の参加がありました。

産官学が連携した取り組み

コロイド・界面化学には、化粧品、洗剤、塗料、医用材料、医薬品、電子部品用材料など、様々な工業製品開発に必要

不可欠な「実学」としての側面があります。そのため当部会には 23 の法人会員をはじめ (<https://colloid.csj.jp/company/>)、多くの企業研究者に参加いただいています。部会長と副部会長 3 名からなる現在の執行部も半数が企業研究者から構成されており、産官学が連携した数々のユニークな取り組みを行っています。

日本の大学ではコロイド・界面化学を体系的に学ぶ機会が提供されていない現状を鑑み、企業の若手社員を主な対象とした「界面コロイドラーニング」を東京と大阪の 2 会場で毎年開催しています。豊富な研究実績や教育経験をもつ充実した講師陣によって、コロイド・界面化学の幅広い基礎を 2 日間で集中的・効率的に学べます。

「コロイドおよび界面化学討論会」の中で開催する「キャリア探」セッションは、学生が普段接する機会が少ない企業の研究者と飲み物を片手に小グループでディスカッションを行うイベントです。「大学での研究と企業での研究の違いは？」といった素朴な疑問をぶつけたり、普段は聞けないホンネが聞ける絶好の機会となっています。討論会の開催地では、また、小学校高学年を対象とした「本物の理科体験学習—コロイド—」を、企業研究者から構成された「企業委員会」のボランティアによって毎回行い好評をいただいています。

若手研究者の活躍の場の提供

部会では若手研究者の育成・活性化のための取り組みとして、2002 年度よりコロイドおよび界面化学分野で新しい科学・技術を作った、または作りつつある若手部会員に「科学奨励賞」と「技術奨励賞」を授与しています。特に後者は企業所属の若手研究者・技術者を対象としたユニークな賞です。また討論会では若手ワーキンググループ (WG) が主体となって「若手口頭講演賞」を授与しています。すべての賞の受賞者には部会誌 Colloid & Interface Communication (年 4 回発行) への記事執筆をお願いし、受賞内容を含めた自己アピールの「場」を提供するようにしています。

ご入会をお待ちしています!

以上、簡単ですがコロイドおよび界面化学部会の活動を紹介しました。今年の討論会は 9 月 15 日(水)~17 日(金)の日程で広島大学東広島キャンパスにて開催予定です (オンライン開催に切り替える可能性があります)。それまでにぜひとも部会への入会をご検討下さい。下記の URL からオンラインで簡単に手続き可能です。

<https://colloid.csj.jp/participation/>

〔部会長 出口 茂 (海洋研究開発機構)〕

© 2021 The Chemical Society of Japan